

6月議会の日程が決まりました！



【日程】

- 6月7日(月) 開会日・本会議
 9日(水) 一般質問
 ① 斎藤(自民) ② 浜田(公明) ③ 山内(市民連合)
 10日(木) 一般質問
 ① 落水(熊本自民) ② 上野(共産党) ③ 北川(無所属)
 11日(金) 一般質問
 ① 古川(自民) ② 伊藤(公明) ③ 島津(市民連合)
 14日(月) 一般質問
 ① 光永(熊本自民) ② 吉田(公明) ③ 平江(熊本自民)
 15日(火) 一般質問
 ① 山本(熊本自民)

*今議会より、一般質問は1人1回60分(年2回)に変更。
 開始時間 ①10:00、②11:10、③14:00

- 17日(木)~ 予算決算委員会分科会・常任委員会
 23日(水) 予算決算委員会・しめくくり質疑
 25日(金) 最終日・本会議(質疑・討論・表決)



* 請願提出の締め切りは、6月7日(月)午後5時まで
 陳情提出の締め切りは、6月11日(金)午後5時まで

上野みえこ議員が一般質問を行います

日時：6月10日(木) 午前11時10分~12時10分まで
 場所：熊本市役所議会棟・本会議場(傍聴席は5階)

- * 取り上げてほしいテーマなどありましたら、ご意見をお寄せください。
 * 議場傍聴席での傍聴と、市議会HPのインターネット同時中継があります。

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
 発行：日本共産党熊本市議団
 上野みえこ なすまどか

NO. 1234
 2021年5月23日号
 電話 328-2656
 FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索



ずさんな花畑広場の工事計画 実施段階で整備費が4,140万円増額に

5月臨時議会に、花畑広場のサービス棟建設工事が実施段階になって種々の変更が生じ、約4,140万円の増額となったことが報告されました。しかし、内容を詳しく見ると、関係各所との設計段階での協議や地盤調査、産文解体など過去の工事の状況確認など、設計段階での調査・検討が不足していたのではと思われる点がありました。総額23億円も使う花畑広場・シンボルプロムナード等整備が、設計・工事のすすめ方がずさんではなかったかと思われます。

改修の必要ない辛島公園の全面改修と合わせ、ムダにムダを重ねるものです。

【主な変更点と増加額】

- 警察・バス事業者との協議で予定外の歩行者用仮設通路が必要となり工期も延長 1,800万円
- 想定外の地下水噴出の止水工事 700万円
- 図面の再確認で仮設工事の見直しが必要になった 700万円
- 土工事の発生土が広場内に置けず他所への運搬費、その後元に戻す運搬費 400万円
- 想定外の地下構造物撤去 300万円
- 掘削する部分に電気・ガス・水道・通信等の管が確認され、配管調査のため工期延長 200万円

【控室から】 娘たちと料理

なすまどか



私の名刺の裏には、「趣味：野球・料理」と書いています。ごく稀にはありますが、名刺を見た方から「料理とかするんですか？へえ」と反応が返ってくることもあります。私が料理をすることになったきっかけは、母の入院でした。小学校4年の頃、食事を作ってくれていた母が入院し、父と二人で朝食を作ったことが私の初めての料理でした。スクランブルエッグのような卵焼きが出来上がったことを覚えていますが、それ以来、手の凝った料理はできませんが、料理を楽しんできました。さて先日の母の日、家族で料理をプレゼントすることになり、娘たちとともに夕食を作ることにしました。長女は、チキンライスを担当し、次女は卵を割る係に、私はチキンライスを丸め、パン粉をつけて揚げる係になりました。パン粉が剥げたり、丸ではなかったりしましたが、何とかライスコロケが完成しました。おいしそうに食べる妻の姿を、子どもたちも喜んでいるようでした。コロナ禍の息苦しい毎日ですが、ほっとした一日を過ごすことが出来ました。

感染急拡大に対応した支援策の拡充を求め、熊本市民連で、熊本市へ要望

5月11日、「平和と民主主義・暮らしを守る熊本市民連絡会」で、感染が急拡大する新型コロナ対策の拡充を求めて、市への要望を行いました。

今回の要望は、深水副市長が対応、要望書を手渡した後、担当局長も交え懇談しました。



「全力で」というなら、現場の声を聞いた対応を

熊本市民連からは、新日本婦人の会・障がい者児の生活を豊かにする会・民商・生健会・健康友の会などから参加があり、各分野の切実な声が届けられました。医療現場の様子、生活に困窮者への民間の支援の実態、事業者の行き詰った状況などなど。特に、ワクチン接種への市民の関心は高く、スムーズな接種に向けしっかり取り組み・対応を強く要望しました。

副市長は、「新型コロナに全力で向き合っている。何が効果的か、よく考えて取り組んでいきたい。PCR検査は順次拡充し、大学・駅頭でも行っている。ワクチンでは、混乱を招いてしまったが、混乱を抑えたい。事業者への支援は、有効な方法を検討中である。医療機関はコロナを支える根幹として考えていく。学生の窮状は把握している。生理の貧困は、文化市民局と協議している。」など、いずれの分野の課題でも、種々協議している旨の発言がありました。

医療現場、地域の事業者、市民生活、いずれも、長期のコロナ禍によって差し迫った状況となっており、具体策を急ぐ必要があります。

【要望事項】

1. コロナ感染対策の拡充

- ① 熊本市が実施している中心市街地でのPCR検査を希望する市民へと広げること
- ② 変異株対策として、若者対象の検査箇所（大学等）を増やすこと
- ③ 無症状者の発見と隔離の必要性を周知・広報すること
- ④ 変異ウイルスの全数検査を実施すること
- ⑤ 高齢者・障がい者施設等の従事者へのPCR検査は継続し、対象を施設利用者まで広げること
- ⑥ ワクチン接種は、市民へ適切な情報提供を行うとともに、体制をとり安全・迅速に進めること

2. 業者支援の拡充

- ① 4月で終了した熊本市の飲食店取引事業者等緊急支援金、熊本市時短協力緊急家賃支援金を復活し、申請期限は7月末まで延長すること。また、支援要件は事業継続できるものに改善し、減収はコロナ前と比較すること
- ② 国の経済対策に上乗せし、飲食業・関連事業者に限らず、幅広い中小零細事業者への市独自の給付支援を行うこと

3. 医療崩壊を防ぐための医療機関・医療従事者への支援

- ① 医療機関に対し、国の支援を補完するような市独自の支援を実施すること
- ② 病床確保のためにも、医療現場のマンパワー確保に力を入れること
- ③ 医療介護等従事者へのPCR検査は週1回以上に拡充し、対象を入院患者まで広げること
- ④ 医療従事者へのコロナワクチン接種後の抗体の有無を確認する抗体検査を実施すること

4. 市民生活への支援

- ① 国保・後期高齢者医療・介護保険の保険料コロナ減免措置は、国の財源措置を活用し4月以降も継続すること。及び、国保の新型コロナによる傷病手当金は、事業主も対象にすること
- ② 生活保護申請時の扶養照会はやめ、窮迫の場合は申請後2週間を待たず保護を開始すること
- ③ 生活困窮者のために、「お米券」を発行すること
- ④ 民間が行う「食料・日用品支援」コロナ相談会活動に、行政として場の提供や物資支援・運営助成金支給などの協力を行うこと
- ⑤ 困窮している学生に対する熊本市独自の給付金を支給すること
- ⑥ 水道料金・下水道使用料の支払い猶予を、減免にすること

5. コロナ禍により世界的にも表面化している「生理の貧困」について

- ① 自治体窓口において、生理用品の無償配布を行うこと
- ② 学校施設の女子トイレ個室に適切な返却不要の生理用品を設置すること
- ③ 必要な児童・生徒には生理用ショーツを配布すること
- ④ 養護教諭らに生理をはじめ心や体の悩みを気兼ねなく相談できる環境を整備すること
- ⑤ 国に対し、ふさわしい財政措置を取るよう求めること

*以上のほか、持続化給付金の再支給、雇用調整助成金の継続、医療機関への支援、検査の拡充への財政支援、ワクチン接種の体制確保への支援などを国へ要望するよう求めました。